

道内の木材市況概況(令和2年1月)

[主要品目の価格動向]

区分	樹種	形量・品等	仕切場所	全道価格	前月差 (前期差)	市況の動向	
素材	トドマツ	径30～38cm 長3.65m 品等込	工場着	13,100	0	(道産材) ・エゾ・トド原木は、概ね順調な入荷となっている。引き続き一部地域でトラックが手配できていない。市況は保合。 ・カラマツ原木は、地域によって入荷量は持ち直し、必要最低限の在荷がある。工場により適木不足となっている。市況は保合。 ・広葉樹原木の市況は、樹種によって弱保合～強保合となっている。 (外国産材) ・米材丸太の12月の輸入量は6千 ^m (前月0千 ^m ・前年同月0千 ^m)。12月末港頭在荷量は11千 ^m (前月比157%・前年同月比311%)。	
	カラマツ	径14～18cm 長3.65m 品等込	工場着	9,900	0		
	カラマツ	径20～28cm 長3.65m 品等込	工場着	11,200	0		
	*エゾマツ	径30～38cm 長3.65m 品等込	工場着	13,600	0		
	*ナラ	径30～38cm 長2.4m 上品等3等	工場着	25,400	100		
	スプルース(米材)	径30cm上 長込 品等込	港頭オントラ	21,000	0		
製材	エゾ・トド	厚10.5cm×幅10.5cm 長3.65m 甲Ⅱ-2級	工場渡	56,200	0	(道産材) ・エゾ・トド製材の荷動きは製品ごとに異なり、建築材は勢いに欠けやや低調、梱包材は減少傾向にある。市況は保合。 ・カラマツ梱包材・パレットの荷動きは減少傾向にある。ラミナの動きは少量となっている。市況は保合～強保合。 (住宅着工戸数) ・12月の新設住宅着工戸数は前年同月比94%。 (外国産材) ・米材製材の12月の輸入量は1千 ^m で前月比121%、前年同月比78%。12月末港頭在荷量4千 ^m 3で前月比96%、前年同月比67%。	
	カラマツ		工場渡	31,100	100		
	*ナラ	厚2.7cm×幅15cm上 長2.0m以上 板類1等	工場渡	195,000	0		
	スプルース(米材)	厚10.5cm×幅10.5cm 長3.65m 品等込 人工乾燥材	港頭オントラ	60,000	0		
合板	シナ	厚4mm 幅91cm×長182cm 2類-1等	問屋着	960	0	市況は保合。	
チップ原料材	カラマツ	形量・品等込	チップ工場着	5,700	0	・チップ原料材は保合。 ・チップは保合～強保合。	
	広葉樹	形量・品等込	チップ工場着	8,700	0		
チップ	カラマツ	山棒・剥皮	チップ工場サイロ下	7,000	0		
	広葉樹	山棒・剥皮	チップ工場サイロ下	9,600	0		

注1 前月差欄の△印は、値下がりを示す。

注2 価格欄の「-」は、調査項目の変更のため未調査であることを示す。

注3 外国産材の輸入動向数量関係は、北海道木材輸入懇話会資料による。

注4 四半期項目(樹種名の前に「*」を表示)は、当該調査月から直近の調査価格と前期差を示す。

注5 毎年4月に調査対象企業の変更を行っているため、グラフの3～4月価格は接続しないて表示する。